

目次

はじめに	i
要約	ii
第一章 中東和平プロセスの危機とイスラエル政治 [立山 良司]	1
1. はじめに	1
2. 危機の深化	1
3. 「平和」と「安全」	4
4. イスラエルのアラファト体制に関する認識	8
5. おわりにーパレスチナ国家樹立の具体化を	10
第二章 バラク政権と中東和平プロセス [林 真由美]	13
1. はじめに	13
2. イスラエルの安全保障とバラクのレッドライン	14
3. バラク政権期間中の各トラックの動き	16
4. 和平プロセスの失敗要因	21
5. バラク政権が和平プロセスに残した功績	35
6. 終わりに	39
第三章 イスラエルにおける「統帥権問題」～首相公選制のもう一つの蹉跌～ [池田 明史]	56
1. パレスチナ騒乱とシャロン内閣	56
2. 泥沼化の要因としての首相公選制	56
3. 首相公選制と統帥権問題	57
4. イスラエルの統帥パターン (1): ベングリオン前期	58
5. イスラエルの統帥パターン (2) (3): ベングリオン後期から ゴルダ・メイア	59
6. イスラエルの統帥パターン (4): 第一次ラビン内閣	60

7. 挙国一致内閣から第二次ラビン内閣まで	62
8. ラビン暗殺以降	63
9. シャロン政権	64
10. 結び	65
第四章 世俗と宗教の相克 —イスラエル内政の基層とその変質— [松本 弘]	67
1. はじめに	67
2. 2つの座標軸	68
3. 連立政権と宗教政党に関わる近年の変化	71
4. ミズラヒームのセルフ・アイデンティティ	73
5. 結語	78
第五章 アラブ諸国とパレスチナ問題 [伊能 武次]	84
1. はじめに	84
2. アラブ・ナショナリズムの潮流	85
3. エジプトとアル・アクサ・インティファーダ	87
4. むすびに代えて	92
第六章 シリア：新時代の到来と対イスラエル政策の今後 [青山 弘之]	94
1. はじめに	94
2. 東アラブ地域におけるシリア	95
3. 中東和平プロセスとシリア	98
4. B・アサド政権の対イスラエル政策	102
第七章 イスラーム主義勢力と中東和平 —「ハマース憲章」再考 [飯塚 正人]	111
1. はじめに	111
2. ハマースの闘争論理	112
3. 米国同時多発テロ事件とパレスチナ	119
4. おわりに	125